

【同時発表】国土交通本省、文部科学省、農林水産省、国見町

令和7年3月18日（火）
東北地方整備局

福島県国見町の歴史まちづくり計画（第2期）を認定します

～地域に誇りを感じるまちづくりを応援します～

国見町の歴史まちづくり計画（第2期）を3月21日に認定します。

令和7年度からの10年間で、史跡・阿津賀志山(あつかしやま)防塁の保存・活用や神楽・祭の継承支援など、地域の歴史遺産が未永く受け継がれていくための計画です。

春になってあたたかくなってきます。桜や桃などの季節の花と地元のお菓子を楽しみながら国見町の歴史を訪ねてみませんか？

歴史まちづくりとは（正式名称：歴史的風致維持向上計画）

全国各地には、城や神社仏閣とその周辺の町家や武家屋敷等から成る市街地と、祭礼行事、民俗芸能、昔ながらの生業等の人々の伝統的な営みや活動とが一体となって、地域の個性とも言える歴史的な情緒や風情を醸し出すまちが多くあります。

これらを「歴史的風致」として地域固有の資産であると捉え、関係省庁が連携し、地域の活性化や歴史・伝統文化の保存・継承について、ハード・ソフト両面から支援しています。

阿津賀志山防塁の歴まちカードを配布中です

配布場所：あつかし歴史館

配布時間：9：00～16：30

月曜日（祝日の場合は翌平日）

年末年始、臨時休館有



【記者発表先】東北建設専門紙記者会、福島県政記者クラブ、東北電力記者会

《本件の問合せ先及び取材申込先》 国土交通省 都市局 公園緑地・景観課

景観・歴史文化環境整備室 うかわ 宇川、くによし 國吉

TEL：03-5253-8111（内線 32983、32986）、03-5253-8954（直通）

《うち、東北の歴まちに関する問合せ先》 国土交通省 東北地方整備局 建政部

計画管理課長 さがみ 坂上 だいすけ 大介（内線 6121）

計画管理課長補佐 おおだて 大館 ひであき 秀明（内線 6130）

TEL：022-225-2171（代表）

（歴まち法の概要、全国の認定状況はこちら）

<http://www.nilim.go.jp/lab/ddg/rekimachidb/index.html>



(1) 第1期計画の取組による成果(平成27年度~令和6年度の10年間)

- ・道の駅、文化財センター、歴史公園の整備を行い、各施設が周遊の拠点となり相乗的な効果によって、交流人口が大幅に増加しました。
- ・歴史文化遺産の調査にもとづき、歴史文化基本構想の策定と文化財の新たな指定・登録が進み、文化財の保護・継承につながっています。
- ・歴史的風致・民俗芸能の継承と案内ガイドや文化財活用事業が、住民主体・協働により展開され、歴史まちづくりが大きく進展しました。



歴史公園(あつかし千年公園)
史跡と蓮池の一体的な整備を行い、地元団体により運営されています



子供たちが神楽を練習中
内谷春日神社太々神楽保存会の取組
令和7年の奉納は4月20日(日)!

(2) 第2期計画の概要(令和7年度~令和16年度の10年間)

国見町には、文治5年(1189)、藤原泰衡が源頼朝の率いる鎌倉軍を迎え撃つために築いた国史跡「阿津賀志山防塁^{あつかしやまぼうらい}」や旧宿場町・農村集落の町並みの中で、顕彰や信仰・民俗芸能と人々の営みが残り、地域固有の歴史的風致が形成されています。

第2期計画では、引き続き阿津賀志山防塁と歴史的建造物及び周辺環境の保存・活用に向けた取組を進めるとともに、地域の民俗芸能の継承に対する支援の充実を図り、歴史的風致の維持向上を推進します。また、第1期計画の成果である住民による活動をさらに伸ばし、本町の魅力を発信するために、情報発信と人材育成・住民協働の取組を深めることで、自らの地域に誇りを感じる町民協働の歴史まちづくりを発展させます。



国史跡「阿津賀志山防塁」
案内活動による顕彰がつづけられています



鹿島神社の例大祭
神輿と山車がぶつかり合う「もみあい」
例年10月第4土曜日頃の予定です